

令和 5 年 6 月 9 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会
代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

- 1 期日
令和5年5月24日（水）～5月25日（木）
- 2 活動場所
明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
東京都千代田区神田駿河台1-1
- 3 参加者
山谷 仁、柳橋 好子
- 4 活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	DX時代の地方創生のために我々地方議会議員はどうあるべきか、自治力を高めるためにはどうするべきかを考えるために研修するものである。
活動概要	<p>●実施日 令和5年5月24日(水)～令和5年5月25日(木)</p> <p>●場所 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール 東京都千代田区神田駿河台1-1</p> <p>●内容 1日目 24日(水) 13:00～17:30 日本自治創造学会研究大会 DX時代の地方創生 ～ 自治力を高める ～</p> <p>①講演 DX時代の日本の原動力を考える 益 一哉(東京工業大学学長)</p> <p>②講演 社会インフラ管理の重要性と人材育成 石川 雄章(㈱ペイシスコンサルティング代表取締役社長・北海道大学客員教授)</p> <p>③事例発表</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新たな議会の挑戦 ～議員政策条例の推進～ 田村 琢実(埼玉県議会議員・元議長)・ 埼玉県議会へ問う「地方議会のあり方」 穂坂 邦夫(日本自治創造学会理事長) <p>④自治体事例発表 ～ DX時代の個性あるまちづくり ～</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育と音楽とスポーツの個性あるまちづくり 清水 聖義(群馬県太田市市長)・ スマートシティの新たな挑戦 宮元 陸(石川県加賀市長)・ 「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち」を目指して 中村 一郎(岩手県盛岡市副市長)

<p style="text-align: center;">活動概要</p>	<p>2日目 25日(木) 10:00～15:05</p> <p>①講演 地域の活性化と組織の自立・連携 渡部 晶(財務省大臣官房政策立案総括審議官)</p> <p>②講演 出生率2.95 人口維持のまちづくり～町全体での子育て～ 奥 正規(岡山県奈義町長)</p> <p>③パネルディスカッション 自治力を高めるためには パネリスト 牛山 久仁彦(明治大学政治経済学部教授) 後 房雄(愛知大学地域政策学部教授) 金井 利之(東京大学大学院法学政治学研究科教授) ※体調不良により欠席 宮台 真司(東京都立大学人文社会学部教授) コーディネーター 西出 順郎(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)</p>
<p style="text-align: center;">活動成果 および所感等</p>	<p>以上の項目により講義等の研修を受けました。</p> <p>考察として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加賀市宮元市長の講演について スマートシティの新たな挑戦と題して講演をして頂いた。人口6万7千人と「コンパクトシティ」に程よい人口と面積の加賀市において、市長は人への投資、教育と人材育成に普請をし、将来の加賀市を形成していくのだと強調されていた。また、従来の教育方法にかかわらない発想での教育方法を模索し、幼児教育からの変革をなされているのだと感じた。「米百俵の精神」を見直し、子育てからの都市づくりを考えたいと言っていた。 滝沢市にも大いにあてはまる精神・政策だと考えられ関心を持って聞いた。 ・ 盛岡市副市長 中村一郎さんの講演について ニューヨークタイムズに「2023年、世界で行くべき所のランキング」2位に盛岡市がクレイグ・モドさんによって掲載され、世界の話題になっている。 現在そのお陰をもって、盛岡周辺に多くの外国の方々を訪れている。 盛岡市に隣接している滝沢市としても、チャグチャグ馬コという大きな伝統行事を共同で行っていることなどで、歓迎するとともに滝沢市としても大いにPRに努めたいところである。 また、中村副市長は、盛岡市の課題の一つである公共交通の問題を取り上げていた。盛岡市も課題として今取り組んでいることを、全国の皆さんに披瀝をしていた。滝沢市もこの15年間悩みながら遅々として進まないこの課題については、盛岡市が先んじてその構想を打ち出すものとするが、隣の滝沢市としても相乗効果を狙える又は、連携した公共交通政策の打ち出し方が出来るものと考えられる。この機会に滝沢市としてのアピールが発出できれば今後の市PRに

端を発することが出来るものと考えられる。

また今後、わが市の担当課と盛岡市の担当課、あるいは首長同士の連携が出来るものか、期待したいものである。

今回の研究大会の大きなニュースになるものと考えている。

- パネルディスカッションについて

それぞれのパネリストの個性が光るものであった。

民主主義の根幹に触れる言葉があった。宮台教授の「自分がこれで良くても、あの人はどうか、この人はどうかと考える力があるか、なければ民主主義は成り立たない」ということが刺さった。考えを持たずにポジショニング(ポジションどり)をする。何が必要条件で、何が十分条件か ということを考えさせられた。

- 出生率2.95の講演について

非常に興味深い内容であった。過疎の小さな町でこれでもかこれでもかと子育てでの施策を講じていることに驚いたが、そのためには優先順位をきめて取り組んでいることがわかった。経済支援だけでなく、文化的な環境を整えていることも興味深い。人口の違いはあるが、今後人口減少が懸念される滝沢市としても大いに参考になると思われる。

非常に参考となり、意義ある研修であった。



山谷議員の質問



研修行程表

年 月 日	時 刻	行 程
令和5年5月24日 (水)	9:50~12:08 13:00~17:30	盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ14号) 【研究大会 (1日目)】 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール (東京都千代田区神田駿河台1-1) <ul style="list-style-type: none">・講演「DX時代の日本の原動力を考える」・講演「社会インフラ管理の重要性と人材育成」・事例発表 【宿泊】 京王プレッソイン神田 (1泊朝食付き) (千代田区神田多町2-8)
令和5年5月25日 (木)	10:00~15:05 16:20~18:33	【研究大会 (2日目)】 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール (東京都千代田区神田駿河台1-1) <ul style="list-style-type: none">・講演「地域の活性化と組織の自立・連携」・講演「出生率2.95人口維持のまちづくり ～町全体での子育て～」・パネルディスカッション 東京駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ35号)